

## 戦略2 えべつの将来を創る産業活性化

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 経済部 関係部局 総務部、企画政策部、健康福祉部

### めざす姿

- 農業・商業・工業等の連携により産業が活性化し、まちの活力が高まります。
- 市内での就労人口や交流人口が増加し、市内がにぎわいと活気に満ちています。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

※（ ）は他戦略との重複分

名 称	予算額						
	H26年度		H27年度			H28年度	
			当初	H26補正	計		
2 A 産業間連携等による産業の活性化	36,091	千円	25,437	6,500	31,937	千円	千円
2 B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開	41,837	千円	37,879	3,207	41,086	千円	千円
2 C 雇用の創出と人材育成の支援	4,708 (54,050)	千円	0 (770,568)	14,371	14,371 (770,568)	千円	千円
2 D 地域資源の活用による観光の振興	4,668	千円	4,865	0	4,865	千円	千円
計	87,304 (54,050)	千円	68,181 (770,568)	24,078	92,259 (770,568)	千円	千円

### 戦略プロジェクト2 A 産業間連携等による産業の活性化

#### 【プロジェクトの目標】

それぞれの産業や企業単独ではなく、江別市の特徴的な取組である産学官連携・農商工連携を強化し、多様な主体が連携して地域に根差した産業集積をはかるとともに、大学・研究機関に恵まれた江別市ならではの知的資源や学生の力を活かした産業の活性化をめざします。

#### ◆成果指標2 A-1 (産学官・産業間連携の) プロジェクトによる新アイテム開発取組数(累計) (単位: 件)

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
0						5

#### < 27年度の方針 >

戦略プロジェクト2 A「産業間連携等による産業の活性化」は、引き続き産学官連携や農商工連携の強化を図っていくほか、地域に根差した商店街やコミュニティづくり、大学・研究機関を活かした産業の活性化を目指しており、以下のとおり進めていく。

◆推進プログラム2 A-1「市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援」では、連携した取り組みへつながるよう、経済活動広報事業により市内の産業や企業を市民に広く周知するとともに、商工業活性化事業と江別経済ネットワーク事業を継続し、新製品開発・新ビジネス創出の支援と農商工、産学官の連携強化を図る。また、一定程度効果が出ている商工業活性化事業を継続していく。

◆推進プログラム②「マーケティングの視点に基づいた産業振興」では、課題となっている商品の高付加価値化や販路拡大のノウハウを持つ事業者の育成を進めるため、「食を軸とした観光誘客・地場産品販路拡大事業」のうち、まちの魅力のひとつである「食」のプロモーション活動を展開し、江別市民、市外、道外を対象に江別の魅力について発信していく。

◆推進プログラム③「地域に根差した商店街の魅力づくりの支援」では、地域課題の解決を目的としたコーディネーターを常設し野幌商店街の再編整備の促進を図るほか、商店街コミュニティ活動の啓発セミナーを実施し多様な主体の参入によるコミュニティーの場としての商店街の活性化を図る。

◆推進プログラム④「大学・研究機関との共同研究の推進」では、食の機能性に係る評価研究の成果の活用など研究成果の橋渡しに向けた支援を講ずることにより、市内中小企業等における機能性食品の開発促進を図る。

◇推進プログラム2A-① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援

<課題>

- 市内にある大学・研究機関のほか、多様な事業者の有利性を活かす

<取組の概要>

- ・市内の経済活動や産業の市民や企業へのPRによる連携のきっかけ作り
- ・農商工、産業間連携等による新製品開発・販路開拓の支援により産業を活性化
- ・地域産品開発プロジェクトの立ち上げ、情報提供
- ・研究成果発表の機会の増加による異業種間連携強化（新製品開発に係るPR、試食会の支援等）

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
経済活動広報事業	広報した産業・企業数	4 件	6 件	件	
	事業費	900 千円	900 千円	千円	
商工業活性化事業	補助金の活用件数	40 件	35 件	件	
	事業費	6,585 千円	6,185 千円	千円	
江別経済ネットワーク事業	例会参加者数	150 人	150 人	人	
	事業費	417 千円	341 千円	千円	

◇推進プログラム2A-② マーケティングの視点に基づいた産業振興

<課題>

- 商品の高付加価値化や販路拡大のノウハウを持つ事業者の育成

<取組の概要>

- ・商談会等による販路拡大のほか、道外、海外への出店に対する一体的な支援
- ・江別産農畜産物を使った加工品の開発（「美味しい江別・大人の食育」ブランド化プロジェクト支援など）
- ・成果発表の機会と協賛企業の掘り起し
- ・製品試作企業を掘り起し、商品化コーディネート、マーケティング調査

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
食を軸とした観光誘客・地場産品販路拡大事業	商談会・催事出展企業数	29 社	29 社	社	
	事業費	355 千円	243 千円	千円	
商工業活性化事業【重複】2A-①	補助金の活用件数	40 件	35 件	件	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	
江別経済ネットワーク事業【重複】2A-①	例会参加者数	150 人	150 人	人	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	
総合特区推進事業【重複】2A-④	食関連企業の新増設数	1 社	2 社	社	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	

◇推進プログラム2A-③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援

<課題>

- 地域の特性を活かした商店街の魅力づくり
- 高齢者や学生、地域住民など多様な主体や様々な世代の交流による商店街の活性化

<取組の概要>

- ・学生や高齢者など多様なコミュニティ活動主体の参入促進（参入促進への機運醸成に向けた、支援制度や成功事例を紹介するセミナーの開催、参入希望者への手厚い相談・支援の実施）
- ・魅力あるテナントの誘致など商店街活性化に向けた取組を支援（商店街の要請により出店したテナントの出店経費に対する補助、地域課題解決のためのコーディネーター配置）
- ・商店街の活性化を目的としたイベント等への支援

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業	相談件数	120 件	240 件	件	
	誘致件数	1 件	1 件	件	
	事業費	8,581 千円	8,548 千円	千円	
商店街参入促進事業	セミナー参加者数	50 人	50 人	人	
	サポート事業実施数	2 件	2 件	件	
	事業費	792 千円	750 千円	千円	
商工業活性化事業【重複】2A-①	補助金の活用件数	40 件	35 件	件	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	

◇推進プログラム2A-④ 大学・研究機関との共同研究の推進

<課題>

- ネットワークの活力向上
- 連携強化の仕組みづくり

<取組の概要>

- ・連携強化と自立的な運営に向けた仕組みづくり
- ・市内中小企業等における食の機能性に係る研究評価の成果の活用など研究成果の橋渡しに向けた支援
- ・産学連携による新商品開発に係るモデル的取組の支援（新商品開発に係るモデル事業の実施）
- ・既存補助金の利活用による産学連携の取組支援

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
総合特区推進事業	食関連企業の新増設数	1 社	2 社	社	H27事業費の一部をH26補正前倒し
	事業費	18,461 千円	8,470 千円	千円	

戦略プロジェクト2B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開

【プロジェクトの目標】

江別市の基幹産業の一つである農業が、第2次産業・第3次産業と連携して実施する江別産農畜産物の高付加価値化の取組や立地環境を活かした食関連産業の集積を図るとともに、江別産の「食」について市内・道内はもとより道外・海外といった広域的な市場ニーズに合わせた販路拡大への取組などを支援します。

◆成果指標2B-1 えべつの農産物加工品認定数（累計）（単位：件）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
0						22

<27年度の方針>

戦略プロジェクト2B「農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開」は、江別産農畜産物の高付加価値化やブランド化への取り組みを充実させるほか、条例の活用による食関連企業等の立地促進や、江別産の「食」について市外道外への広域的な展開に対する取り組みを支援しようとするものであり、以下のとおり進めていく。

◆推進プログラム①「食」の付加価値を高める産業の集積」では、市内に立地する企業をPRし、企業間連携のきっかけをつくるため、企業PRガイドの市HPへの掲載により情報発信を行うとともに、掲載企業の拡大を図る。また、平成26年度に施行した「江別市企業立地等の促進に関する条例」に基づく補助制度のPR活動に力を入れ、引き続きRTNパークへの食品企業の誘致を推進する。

◆推進プログラム②「付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援」では、ブランド化小麦製品の維持・拡大に必要な原材料を一定程度確保するための生産者支援を行うとともに、ブランド牛の産地として改良増殖を進めるため、優良種雄牛精液購入等に対する生産者支援を行う。また、江別ブランドのファンを増やすためPRを強化する。

◇推進プログラム2B-① 「食」の付加価値を高める産業の集積

<課題>

- 企業立地を推進するための江別市の魅力付け
- 企業間連携を図るための企業情報の収集・PR

<取組の概要>

- ・企業ガイド等の作成、更新などによる市内企業のPRと企業間連携の促進（工業団地協同組合等との連携）
- ・フード特区制度や企業立地にかかる補助制度の運用による食関連企業等の立地促進（H26 江別市企業立地等の促進に関する条例施行）

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
企業誘致推進事業	立地企業・事業所数	2 社	2 社	社	
	事業費	2,674 千円	1,987 千円	千円	
企業立地等補助金	補助金認定件数（累計）	23 件	25 件	件	
	事業費	35,344 千円	34,900 千円	千円	

◇推進プログラム2B-② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援

<課題>

- 市内企業の体力や海外戦略の段階に応じた、海外展開支援
- ブランド品を維持・拡大するための支援
- 市内外への継続的なPR
- 需要を伸ばすための支援
- 加工品開発のノウハウ等支援
- 農畜産物の高付加価値化
- 販路拡大等の支援
- 需要を伸ばすための支援

<取組の概要>

- ・加工品製造生産者による研修会開催支援や指導機関の情報提供
- ・地域のブランド品表示等の支援やPR  
(えべつかあさんブランド認証制度運用)
- ・商談会への出展等の支援
- ・加工品フェア、消費者と生産者の相互理解の支援
- ・原材料安定供給のための生産者支援
- ・広報等メディアの活用等によるPR体系の構築、生産者・実需者と意見交換
- ・江別産農畜産物(小麦・ブロッコリーなど)を活用した商品化の支援
- ・意欲のある市内企業に対する商社と連携した低リスクによる海外販路開拓支援
- ・輸出補助金

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
都市と農村交流事業	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	427,000人	427,000人	人	
	イベント参加者の関心度	80%	80%	%	
	事業費	1,069千円	992千円	千円	
江別産農畜産物ブランディング事業	特産品の認知個数	2品目	2品目	品目	H27事業費はH26補正前倒し 3,207千円
	事業費	2,750千円	0千円	千円	
総合特区推進事業 【重複】2A-④	食関連企業の新增設数	1社	2社	社	
	事業費	—千円	—千円	千円	

戦略プロジェクト2C 雇用の創出と人材育成の支援

【プロジェクトの目標】

「働きたいまち・えべつ」・「企業が立地したいまち・えべつ」をめざして、企業にとって魅力的な立地環境を整備するなど、企業立地の促進による雇用創出と、企業が必要とする労働力を確保するための就労支援・人材育成に一体的に取り組めます。

◆成果指標2C-1 市内企業へ就職した市内の新卒者数(高校・大学) (累計 単位:人)

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
45						250

<27年度の方針>

戦略プロジェクト2C「雇用の創出と人材育成の支援」は、企業立地による雇用の創出や大学生等の就職支援のほか、新たに就職相談や情報提供等による就労支援や、福祉分野での人材育成にも取り組もうとするものであり、以下のとおり進めていく。

- ◆推進プログラム①「企業誘致のための条件整備」では、平成26年度に施行した「江別市企業立地等の促進に関する条例」に基づく補助制度のPR活動に力を入れ、引き続きRTNパークへの食品企業の誘致を推進するほか、今後の工業用地の確保等に向け、地権者等との協議を継続する。
- ◆推進プログラム2C-②「潜在労働力の掘り起こし」では、働きたい女性のための就職支援事業を統合し、潜在労働力の掘り起こしを進める。また、座学研修と職場実習を組み合わせた取り組みにより企業が必要な労働力の確保を図る。
- ◆推進プログラム2C-③「産業の担い手の確保、人材育成の支援」では、市内大学の学生を対象とした有給インターンシップ等就職支援事業、市内高校の生徒を対象とした高校生就職支援事業などの実施により人材育成を支援するとともに、市内企業への就職意識を高め、地元への就職を促進し、産業の担い手の確保を図る。また、新たに介護人材育成事業を実施し、介護分野の人材を育成して介護事業の担い手の確保を図る。

◇推進プログラム2C-① 企業誘致のための条件整備

<課題>

- 新たな補助制度の周知
- 工業用地の確保
- 年度途中からでも待機することなく保育園に入園できる体制の整備
- 多様な保育(子育て支援)ニーズへの対応

<取組の概要>

- ・企業立地の補助制度のPRによる企業立地の促進
- ・企業誘致のための新たな工業用地の確保
- ・待機児童解消の推進(子ども・子育て支援事業計画に基づく保育体制の整備)
- ・市立保育園の整備と運営等に関する計画の推進(白樺保育園と若草乳児保育園統合園の建設)

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
企業立地等補助金 【重複】2B-①	補助金認定件数(累計)	23 件	25 件	件	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	
待機児童解消対策事業 【重複】3A-①	待機が解消された児童数	30 人	99 人	人	
	事業費	(17,550) 千円	(113,109) 千円	千円	
白樺・若草乳児統合園建設整備事業 【重複】3A-①	入所児童数	120 人	140 人	人	
	入所率	100 %	100 %	%	
	事業費	(36,500) 千円	(657,459) 千円	千円	

#### ◇推進プログラム2C-② 潜在労働力の掘り起こし(就労支援)

##### <課題>

- 市内企業の求人に対する十分な労働力の確保
- 子育て等をしながら働きたい女性の課題解消

##### <取組の概要>

- ・求人企業による説明会や就職意欲を喚起するセミナーを併せたイベントの開催
- ・子育て支援施設に隣接した就職相談窓口を開設し、就職に向けた相談や求人情報の提供等により女性の就職を促進
- ・就職に向けた座学研修や職場実習実施による実践的な職務能力を備えた人材を育成し、就職を支援
- ・待機児童解消の推進(子ども・子育て支援事業計画に基づく保育体制の整備)
- ・市立保育園の整備と運営等に関する計画の推進(白樺保育園と若草乳児保育園統合園の建設)

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
働きたい女性のための就職支援事業	就労支援イベント参加者数	150 人	150 人	人	H26実施の「働きたい女性のための就職支援事業(技能習得)」と「同(情報提供)」、「同(機会提供)」を統合
	就職者数	24 人	50 人	人	
	事業費	1,356 千円	0 千円	千円	H27事業費はH26補正前倒し26,897千円
待機児童解消対策事業 【重複】3A-①	待機が解消された児童数	30 人	99 人	人	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	
白樺・若草乳児統合園建設整備事業 【重複】3A-①	入所児童数	120 人	140 人	人	
	入所率	100 %	100 %	%	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	

#### ◇推進プログラム2C-③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援

##### <課題>

- 市内大学・高校等から市内企業へ就職する者の増加
- 市や市内企業等で活躍する人材の増加
- 大学生を市内での就業につなげる実践的な仕組の整備

##### <取組の概要>

- ・大学生対象のインターンシップ推進等による学生と企業両者への支援
- ・インターンシップ(就業体験)や面接指導等による市内高校生の就職支援
- ・大学生の人材育成を目的とする市役所での長期インターンシップ(実学教育)の実施
- ・インターンシップの効果検証と商工会議所、民間企業等への情報提供、啓発
- ・資格取得の支援や職場実習実施による介護分野の人材を育成し就職を支援

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
有給インターンシップ等地域就職支援事業	有給インターンシップ参加学生数	5 人	32 人	人	H27事業費はH26補正前倒し 11,770 千円
	学内企業説明会参加企業数	5 社	5 社	社	
	事業費	72 千円	0 千円	千円	
高校生就職支援事業	就業体験に参加した生徒のうち、意義があったと思う生徒の割合	100 %	100 %	%	H27事業費はH26補正前倒し 2,500 千円
	就職希望者に対する研修等に参加した生徒のうち、役に立ったと思う生徒の割合	100 %	100 %	%	
	事業費	2,759 千円	0 千円	千円	
介護人材育成事業	資格取得講習会修了者数	/	10 人		H27新規事業
	介護事業所就職者数		10 人		H27事業費は、H26補正前倒し
	事業費		0 千円	千円	11,458 千円
市内大学等インターンシップ事業	インターンシップ参加学生数	10 人	10 人	人	H27事業費はH26補正前倒し 413 千円
	インターンシップ参加に意義があったと思う学生の割合	100 %	100 %	%	
	事業費	521 千円	0 千円	千円	

## 戦略プロジェクト2D 地域資源の活用による観光の振興

### 【プロジェクトの目標】

石狩川や野幌森林公園などの豊かな自然、地場産品、公共施設や歴史的建造物など、既存の地域資源を再評価し、観光資源として有効活用するとともに、大都市である札幌市に隣接しているという地の利を最大限に活かした、江別市ならではの観光を推進します。

### ◆成果指標2D-1 主要観光施設の利用者数(単位:人)

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目 標
126,000						132,600

### <27年度の方針>

戦略プロジェクト2D「地域資源の活用による観光の振興」は、引き続き豊かな自然や地場産品、レンガなどの歴史的建造物を観光資源として有効活用するとともに、江別の魅力をHPや雑誌などの様々な手段でPRすることで、札幌に近いという地の利を活かし、江別市ならではの観光を推進しようとするものであり、以下のとおり進めていく。

- ◆推進プログラム①「地域資源の観光への有効活用」では、れんが・食・体験など多様な既存資源を観光プランに反映させ、えべつルートマップ、健康ウォーキングマップの作成、札幌圏の親子を対象としたバスツアーなどの実施により、江別市の魅力発信に努めるほか、新規に「ノハナショウブ群生地」の保存活用を追加し、希少なノハナショウブ群生地をPRし、観光誘客はもとより、市外における江別の認知度の向上を図る。
- ◆推進プログラム②「観光資源のパッケージ化」では、発掘した地域特性や魅力を観光プランに盛り込み、交通手段別、目的別に応じた観光ルートの提案を行っている。また、江別観光協会とのさらなる連携のもと、観光パンフレットほか観光宣伝物の作成や市外イベントによるえべつプロモーションを展開する。また、美味しい江別丸の内江別フェア事業へ参画することにより、市外における江別の認知度の向上を図る。

### ◇推進プログラム2D-① 地域資源の観光への有効活用

- 市外における「江別」の認知度の向上
- 大都市札幌に隣接している優位性を十分に活かす
- 市外への継続的なPR

### <取組の概要>

- ・札幌に近接する地の利を活かし、れんが・食・体験など多様な資源を観光プランとして、ターゲットを絞った旅行雑誌など効果的な広告媒体の利用による観光PR
- ・ウォーキングやバスツアーなどの実施により、江別の魅力発信
- ・札幌圏を対象とした農業体験バスツアーの実施

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
地域発見魅力発信事業	主要観光施設観光入込客数	127,300 人	129,000 人	人	
	事業費	2,881 千円	3,015 千円	千円	
都市と農村交流事業【重複】2B-②	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	427,000 人	427,000 人	人	
	イベント参加者の関心度	80 %	80 %	%	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	

◇推進プログラム2D-② 観光資源のパッケージ化

<課題>

- 札幌近隣において主流の都市型観光の促進
- 個別の観光情報の提供

<取組の概要>

- ・発掘した地域特性や魅力を観光プランに盛り込み、交通手段別（車・自転車・徒歩・公共交通機関）、目的別（れんが・食・体験、健康等）に応じた多様な観光ルートの提案
- ・スタンプラリーの実施、ターゲットを絞った旅行雑誌、HPなどの広告媒体の利用による観光PR

事務事業	指 標	H26年度(予算)	H27年度(予算)	H28年度	備 考
江別観光協会補助金	観光協会事業件数	7 件	7 件	件	
	事業費	1,787 千円	1,850 千円	千円	
地域発見魅力発信事業 【重複】2D-①	主要観光施設観光入込客数	127,300 人	129,000 人	人	
	事業費	— 千円	— 千円	千円	